

旭労災病院ニュース

病院情報誌 第 73 号 平成 23 年 12 月 1 日発行

発行所：旭労災病院

〒488-8585

尾張市平野北61番地

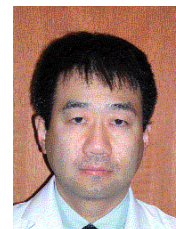
TEL 0561-54-3131

FAX 0561-52-2426

<http://www.asahih.rofuku.go.jp/>

当院における膵癌の外科治療成績

外科部長 高野 学



膵臓は後腹膜臓器で、門脈・腹腔動脈・上腸間膜動脈など大血管に隣接しており、バリアとなる組織に乏しく、小膵癌といえども容易に浸潤性発育を示します。特に膵頭部神経叢などへの神経浸潤、脈管浸潤、リンパ管浸潤が高頻度に認められ、これが切除率・治癒率ともに低い原因となっています。

さらに膵臓は沈黙の臓器ともいわれ、高度進行癌になるまで症状が出ないことが多いため膵癌と診断された時にはすでに、切除不能進行癌となっている症例を多く経験します。正確な統計はありませんが、切除率は 10～20%程度とされています。

近年膵癌が最初に発見される検査として、超音波検査、腹部 CT 検査の割合が増加しています。MD-CT (multi-detector row CT) の出現により、血管像を3D で再構築する事が可能となり、以前必須とされていた、血管直接造影検査の診断的価値は低下してきています。

現時点において唯一根治が期待できる治療は外科的切除ですが、その成績は全国的に芳しくありません。切除例の 5 年生存率は膵頭部癌で 13.0%、膵体尾部癌で 12.2%でした。(膵癌登録 1981-2002、日本膵臓学会)

さて当院における膵腫瘍切除例は過去 10 年間に 42 例、男性 21 例女性 21 例、年齢は 29～84 歳(平均 66.3 歳)でした。組織学的分類は浸潤性膵管癌 30 例、膵管内乳頭粘液性腫瘍 6 例、GIST 1 例、粘液性嚢胞腫瘍 1 例、内分泌腫瘍 1 例、併存腫瘍 1 例、慢性膵炎 2 例でした。

浸潤性膵管癌の手術の内訳は、膵頭十二指腸切除術を施行したもの 22 例、膵体尾部切除術を施行したもの 8 例でした。臨床病期は Stage I 3 例(術後平均生存期間 48.3 か月)、Stage II 0 例、Stage III 14 例(20.1 か月)、Stage IVa 9 例(10.4 か月)、Stage IVb 4 例(15.3 か月)でした。

近年膵癌に対するジェムシタビンや TS-1 による治療が標準治療とされていますが、めざましい効果が得られるとは言えない現状です。膵癌の予後を改善するためには、術前術後に化学療法を加える集学的治療法の確立が必要であると考えられています。

当院における緩和ケア活動

呼吸器科副部長 太田千晴



WHO(世界保健機関)による緩和ケアの定義(2002年)では、緩和ケアとは、生命を脅かす疾患による問題に直面している患者とその家族に対して、痛みやその身体的問題、心理社会的問題、スピリチュアルな問題を早期に発見し、的確なアセスメントと対処(治療・処置)を行うことによって、苦しみを予防し、和らげることでQOL(生活の質)を改善するアプローチである、とされています。

がん医療における緩和ケアは、これまではがん治療が不可能になった時点で始める医療と誤解されていましたが、現在ではがん診療の開始と同時に始め、状況に合わせてがんに対する治療と緩和ケアの割合を変えていくという考え方となっています。がんの診断と同時に緩和ケアを導入することが患者・家族のQOLの向上とともに、延命効果をもたらすことも明らかになっています。

当院でも今年から緩和ケア委員会・緩和ケアチームが活動を開始し、下記のような取り組みをしています。

1. がんの診断・再発・積極的治療の中止、看取り時期に行われるインフォームドコンセントに認定看護師が同席し、心理的な支援を行います。
2. 入院患者に対しては、主治医の依頼にて医師・薬剤師・看護師からなる緩和ケアチームが患者の症状コントロールに対するアドバイスや、本人・家族の心理社会的支援を行います。
3. 外来患者に対しては、心理社会的支援を必要としている患者とその家族を対象に認定看護師が対応し、必要時医師・薬剤師・MSW・地域の看護師と連携します。
4. 緩和ケアの知識と技術の習得のため、院内及び地域の看護師で合同研修を施行しています。

早期から緩和ケアを導入し、患者さんとその家族の療養生活の質を少しでもよいものにできるよう多職種で取り組んでいます。対象患者さんがありましたら、御紹介の程よろしくお願ひ致します。

年末年始の休診について

年末年始休診期間

平成23年12月29日(木)～平成24年1月3日(火)

なお、救急につきましては平常どおり対応を行っておりますので、表の携帯電話をご利用ください。

何かとご不便をおかけしますが、よろしくご配慮のことお願ひ申し上げます。